

◎寄せられた御意見の概要と市の考え方(別紙)

分類	No.	御意見の概要	市の考え方
事業廃止	1	老朽化が進み、特に災害時の倒壊、部品の落下など危険性が増していくことから、早速に解体すべきである。	経済産業省が発電事業者にヒアリングした結果によりますと、一般的な風力発電については、実態上の設計寿命が20年であり、ご指摘の通り、今後の老朽化による故障等の増加や安全管理の面からも、速やかに撤去いたします。
	2	解体を決定する前に、解体となる理由を説明してほしい。	くさつ夢風車は「再生可能エネルギー等に関する普及啓発」と「市立水生植物公園みずの森への電力供給」を目的として稼働を開始し、累積で3,700名を超える方々の視察を受け入れ、烏丸半島を訪れる年間50万人以上の方々に自然エネルギーについて考えるきっかけにしていただくなど、稼働時は大きな啓発効果があったと考えております。 また、「草津市こども環境会議」の充実や「草津市地球冷やしたい推進協議会」の発足・充実等、他市に類を見ない、市独自の環境施策立ち上げの際には、温暖化防止や再生可能エネルギーの普及啓発の側面からの推進力であったと考えております。 しかしながら、当初想定できなかった度重なる故障や、それらの修繕期間が長期化したこと、またブレードの損傷などによる稼働停止のほか、予定していた風速が得られなかつことなどにより、結果として大幅な発電実績の低迷となり、売電収入から維持管理費用や建設に要した費用を除いた場合の収支は、約2億4,600万円の赤字となりました。 これらの事業の振り返りと併せて、一般の風力発電についての実態上の設計寿命が20年であり、事業を継続した場合には、経年劣化による故障の増加が想定され、また安全管理面からも廃止とさせていただく方針を策定したところです。
	3	赤字を出し続けながら再稼働をすることについてはどうかと思う。「足跡として記念となるもの」を新たに作るコストと、風車を残した場合の維持費を比較検討する必要がある。	ご指摘の通り、再稼働した場合の維持管理費用等については、耐用年数の観点から、また経年劣化による修繕費用等の観点から、増加していくことが想定されるため、風車を撤去し、費用対効果等も踏まえながら、風車の足跡を記念となる形で残していくことを考えております。
	4	廃止をする際にはお別れ会や風車の写生大会をするなど、記録や記憶に残る手法を検討してほしい。	草津のシンボル・ランドマークとして親しまれてきた風車でありますことから、今後のスケジュール検討の際には、くさつ夢風車が市民の皆さまの心に残っていくような催しも、併せて検討していきたいと考えております。 また、未来へと繋いでいくための形としましては、市民の皆様に愛着を持っていただけるよう、これまで風車の果たしてきた役割や風車への想いを記念となる形で残していくことを考えております。
	5	くさつ夢風車の廃止は致し方ないがこれまで夢風車が草津市の環境啓発のシンボル、烏丸半島のシンボルとして果たしてきた役割は計り知れない程大きかったことから寂しく、残念である。	
	6	風車は草津のシンボル的存在(ランドマーク)であることから、代替を考慮されているのか。	
未来へ繋ぐ形			

◎寄せられた御意見の概要と市の考え方(別紙)

分類	No.	御意見の概要	市の考え方
事業廃止 未来へ繋ぐ形	7	ブレードやナセルを除去し、タワーを活用して防災無線のアンテナとしたり、昇降機を設けて展望台としたりしてはどうか。	風車そのものの設計寿命が一般的に20年とされておりますことから、安全面を考慮すると、高さを残しての活用は難しいと考えております。  風車の一部を活用し、「くさつ夢風車」がこれまで果たしてきた役割や、風車への想いを未来へ繋ぐために、頂戴した御意見も参考とさせていただきながら、記念となるものを残してまいりたいと考えております。
	8	タワーとナセルを残し、地上60mの風況観測室として活用し、自然の風を解析することに役立てれば、大凧の落下事故やパラグライダーの墜落事故などの原因究明に寄与できるのではないか。	
	9	発電機のみを除去する等の処置を施し、ブレード等を固定した形で、風車そのものをランドマークとして残してはどうか。	
	10	費用をあまりかけずに風車を利活用し、草津の名所、ランドマークとして残してほしい。	
	11	永年の維持管理として、自由の女神や京都タワーのように、今も健在である事例を参考にしてはどうか。	
	12	解体して鳥丸半島内の空地へ設置し、市民や来訪者の環境へのメッセージを記載いただく場とし、その中に素晴らしいものがあれば市政へ活かしていく等の手法も検討してはどうか。	
	13	鳥丸半島の活性化を願い、新たなシンボル的なものを設置するとともに、風車の跡地には、「くさつ夢風車」が環境や地域のシンボルとして役割を果たしてきた足跡を残すために、モニュメントを建立するべきである。	
	14	事業がうまくいかなかったシンボルとして残しておけばよいのではないか。その場合に維持費が生じる場合は、公務員の給与から天引きとすればよい。	
	15	今後の活用について考える機会に関して、広報以外にも周知徹底してほしい。	
再稼働	16	タワーをそのまま残し、国産の風車でローコストでやり直せないか検討してはどうか。	今回、「くさつ夢風車」の今後のあり方に関し、廃止、再稼働、利活用の三案について審議会へ諮問し、廃止として答申いただいた後、パブリックコメントを実施し、その実施に当たっても各種報道機関を通じてお知らせするなど、より丁寧に市民のご意見をいただけるよう努めてまいりました。この後は、市において決定させていただくので、御理解くださいますようよろしくお願ひいたします。
	17	「くさつ夢風車」の建設当時に比べ、技術的・経済的にも向上していることから、最新機種も含め、建て替えを検討してはどうか。	タワーを再利用し、国産の風車を用いて事業を行うことについては、風車のメーカー間での互換性がないため、実現は困難です。 また、集客施設の敷地内で風車を新たに建設・運用することは、推奨できないとの一般社団法人日本風力発電協会(JWPA)の見解もあり、利用者の安全を考慮すると、実現は困難であると考えております。

◎寄せられた御意見の概要と市の考え方(別紙)

分類	No.	御意見の概要	市の考え方
再稼働	18	くさつ夢風車は湖国のランドマークであり、郷土のシンボルであることから、再稼働するべきである。	現時点において収支が赤字であること、風車のそのものの設計寿命は20年とされており、今後、経年劣化による故障等の増加や安全管理に要する費用の増加が想定されること、さらには売電単価の見直しなども鑑みますと、将来的にはさらに採算性が低下していく可能性もありますことから、費用対効果も考慮し、事業廃止といたします。
	19	くさつ夢風車の建つ場所では年平均3m/秒以上の風があることから運営次第では発電可能であり、鳥丸半島内の施設で消費すればよいのではないか。経費についてもふるさと納税や国・県の助成、企業や市民の募金等検討の余地があるのではないか。	
今後の施策	20	今後のエネルギー施策の動向を注視し、改めて風力発電事業を検討する際には、風向や風速などに関わる調査を十分に行って事業の最適地を選定するとともに、赤字を生むことのないよう、風車の規模も草津に適した規模のものを選定するようにしてほしい。	ご指摘のとおり、世界的にも再生可能エネルギーを取り巻く情勢は、刻一刻と変化しておりますことから、頂戴しました御意見は、今後の環境施策について検討する際の参考とさせていただきます。
	21	次世代に良いエネルギー、良い地球環境を作ることが社会人の責務であると考えているので、エネルギーと地球環境問題を併せて考えていくてほしい。	
	22	滋賀県には風車があり、環境保全にしっかり取り組んでいるイメージを持っている。しかし実際のところ費用対効果がなかったり、ただ自然エネルギーの普及の目的として風車を建設したりということである。もっと自身のある環境保全を実行していくてほしい。また、この件についての総括をし尽くし、教訓を将来に生かせるように、特に工夫をしていくてほしい。	
その他	23	環境啓発施設としての役割は果たしたとあるが、投資コストに見合った成果があったとは言えず、未達成ではないか。	累積で3,700名を超える方々の視察を受け入れ、鳥丸半島を訪れる年間50万人以上の方々に自然エネルギーについて考えるきっかけにしていただくなど、稼働時は大きな啓発効果があったと考えております。 また、「草津市こども環境会議」の充実や「草津市地球冷やしたい推進協議会」の発足・充実等、他市に類を見ない、市独自の環境施策立ち上げの際には、温暖化防止や再生可能エネルギーの普及啓発の側面からの推進力であったと考えております。 以上のことから、発電事業としては成立しなかったものの、啓発効果は一定あったものと考えております。

◎寄せられた御意見の概要と市の考え方(別紙)

分類	No.	御意見の概要	市の考え方
その他	24	風車が回らないのは、風を受ける高さに設置されていないからだと聞いたが、設計ミスであり、責任の所在を明確にする必要があるのではないか。	当初想定した発電電力量が得られなかつたのは、風を受ける高さに設置できていなかつたからではなく、建設当時、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の示すマニュアル等により、風速を推計したものの、想定通りの風速が得られなかつたこと、および度重なる故障が発生しそれらの修繕期間が長期化したことによるものであり、当時としては出来る限り得られる知見を基に検討した結果であると考えております。
	25	今後、市政運営にあたり、この様な無駄を起こさせないために、民活を導入してはどうか。 また、鳥丸半島全体の開発が甘いのではないか。野村に建設予定の水泳施設が二の舞にならないよう肝に銘じてほしい。	御意見については、今回のパブリックコメントにてお返しする内容ではないと考えております。